

平成 30 年度

事業報告書

1. 法人事業報告書
2. 施設事業報告書

社会福祉法人 恵の園

平成 30 年度

法人事業報告書

社会福祉法人 恵の園

目 次

1. 平成 30 年度総括報告（1 年を振り返って）	1
2. 法人役員、評議員、運営協議会委員	5
3. 理事会開催状況	5
4. 評議員会開催状況	7
5. 運営協議会開催状況	7
6. 内部監査結果	7
7. 法人借入金償還状況	8
8. 職員人事異動状況	8
9. 職員配置状況	8
10. 施設利用者状況	9
11. 補助金による助成物件	10
<総務部> (1) 庶務・経理係	11
(2) 固定資産管理係	12
<人事部> (1) 人材育成係	14
(2) 安全衛生係	16
(3) 交通安全係	17
<その他の係> (1) 防災係	18
(2) 広報係	19
(3) 地域福祉係	20
(4) 支援向上委員会	21
(5) 公益的取り組み	22

1. 平成 30 年度総括報告（1 年を振り返って）

（1）運営全般

- ①恵の園創立 50 周年を迎え、「感謝 そして 前進」をスローガンに掲げた。記念事業では、式典の開催、資金の獲得、建物の改修・補修等の一部を実施することができた。式典は、準備が遅れ気味であったが、無事に終了することができ 261 名の皆様のご出席をいただいた。また、功労賞を 13 名の方、感謝状を 69 名の方々にお贈りした。
- ②人材確保については、平成 30 年度も困難をきわめ、業務におわれてしまった。また、継続課題が遅々として進まず、次年度へ継続する内容が多かった。

（2）福祉サービス事業の「ニーズへの対応」を進める

- ①現行の公益的な取り組みを継続するとともに、今求められるニーズを整理し、新たな取り組みを実践していく。
 - ・既存の取組については、実施することが出来たが、新しいと組みについては、情報収集のみにとどまってしまった。
- ②新規事業を含め新たに開設する事業（特定居宅支援事業「シオンの丘」、相談支援事業所「ぶどうの木」、障害福祉サービス事業所「エステル」）の運営を定着させる。
 - ・特定居宅支援事業「シオンの丘」は、前半は、挨拶回りを行ない徐々に認知度を高めていった。その成果が後半に現れ、契約件数が予定の 35 件を上回り 40 件に達した。
 - ・相談支援事業所「ぶどうの木」は、一般相談事業を開始し、利用者からの緊急連絡等を 24 時間受けられる（1 件）体制を整えたが、緊急受け入れ場所の整備は、日常業務に追われ整備できなかった。
 - ・障害福祉サービス事業所「エステル」は、就労支援 B 型と生活介護の多機能事業所としてスタートした。大きなトラブルもなく、合同での行事等も実施できた。
- ③特別養護老人ホーム「カナン」の増床計画準備を進める。
 - ・平成 30 年 8 月に、渋川市から高齢者福祉計画第 7 期が発表され、渋川市は 60 床の増床計画が出された。昨年 9 月に渋川市に 50 床の増床希望申請書を提出し、平成 31 年 2 月に群馬県から 50 床の承認を受けた。

（3）人材の確保と定着、そして育成について強化していく

- ①多様な人材（高齢者・障害のある方・外国人等）のさらなる活用をはかっていく。
 - ・高齢者の方々の雇用については、昨年度のチラシ等を活用せず進めなかった。
 - ・障害のある方々については、障害者就業・生活支援センターや渋川特別支援学校の進路指導担当者との連携をとり、3 名の採用ができた。

- ・外国人雇用に向けては、まず「技能実習生」の受け入れが行えるように、「技能実習」についての勉強会を行ない、監理団体との契約を行なった。また、責任者等の講習に管理者や役職者を中心に参加した。

②定着促進のために課題等を整理し、見直しをすすめていく。

- ・恵の園の正職員・契約職員の雇用形態や手当等についての課題を抽出したが、具体的な検討まで進めることができなかった。

③人材のさらなる確保のため、様々な手段を講じていく。

- ・これまでの学校訪問や就職説明会等は、確実に実行したが、新たな取り組みの検討まで進めることができなかった。

④ICTの活用や介護ロボット等を導入し、働きやすい環境整備を進める。

- ・あけぼのホーム、カナンにて介護ロボット（自動体変・離床センサー）を導入した。自動体変については、夜勤者の業務軽減（腰痛対策）を進めることができ、離床センサーでは、ご本人のリスク軽減もあるが、利用者の動きがわかるため、職員の不安軽減になった。また、カナンでは、IPトランシーバーを導入したことで、職員間のやり取りや引継ぎ等、一か所に集まることなく、全職員に連絡・指示ができるため、情報共有や時間短縮（引継ぎの時間が半分になった）ができた。

⑤体系的な研修プログラムの構築とキャリアパスの明確化を図る。

- ・今年度予定の研修も全て実施することができず、新たな検討までには至らなかった。

（4）広報機能を強化していく

①一般社会からの社会福祉法人に対する誤解や偏見等を払拭し、正しい理解の促進と協力の確保、福祉人材の確保、そして福祉共生社会の推進のために、広報機能を強化していく。組織の再編や在り方等を再確認していく。

- ・年間で計画を立てていた内容を実施することでも遅れがちになり、新たな取り組みの検討を行なわなかった。

②ホームページや広報誌のさらなる充実とSNS等の活用を図り、恵の園の働きや福祉に関する情報や課題の発信を高めていく。

- ・「一粒の麦」の発行は、合併号にするなど、定期発行ができなかった。そのため、新たな取り組みの検討まで至らなかった。

（5）恵の園の「中期ビジョン」の策定（継続）

①「今後の地域の福祉ニーズの変化を見据えた事業の展開」「現在行なっている事業の継続性を担保するための資産の維持管理」「財務計画（借入金の返済や積立なども含む）」、さらに「人事管理」等について、「中期ビジョン」を策定していく。

- ・中期ビジョンの作成手順を検討するに留まった。

(6) 各福祉サービスの推進

- ①「グレイスホーム」は、群馬県第三者評価を受審した。また、自己評価を元にマニュアルの見直しと未作成の内容を作成した。また、今冬にインフルエンザの感染が拡大し、利用者24名・職員9名が罹患したが、入院する利用者はいなかった。
- ②「あけぼのホーム」は、利用者支援向上を目指し、全利用者のアセスメントを取り直した。また、17台のベッドを自動体変ベッドに入れ替え、介護負担軽減に繋げた。
- ③「めぐみの里」は、所在不明や転倒・骨折事故などの再発防止のため「アセスメント」の方法・書式を見直し、改めて一人ひとりの状態把握を行なった。また、支援向上の視点から、強度行動障害支援者研修に職員2名を参加させた。(来年度以降も計画的に受講させていく予定)
- ④「カナン」は、「やむを得ない事由による措置」での入所や、緊急の利用希望があった短期入所など、緊急性のある方々の利用を積極的に行なった。また、年間の利用率も90%を超え、短期入所も90%を超える月もあった。
- ⑤「マイム」は、利用者の高齢化・重度化に伴い介護保険サービス(デイサービス・家事援助)を並行利用できるようにした。また、「グループホームの体験利用」を開始し、欠員補充につながった。
- ⑥「さつき」は、入居者の生活活力の向上を図るため、白菊寮の跡地を利用し野菜や果物等を栽培した。また施設整備として、開設から使用していたルームエアコン(12台)を全て新しいものに交換した。
- ⑦「ベテル」は、売り上げが前年度比3.1%増加。平均工賃は前年度の18,607円から2,240円増加(20,847円)し、目標の20,000円を超えた。
- ⑧「エステル」は、就労継続支援B型と生活介護の多機能事業所として、新たにスタートした。就労B型では、売り上げは、前年比約20%増、平均工賃は、9.4%増の12,948円となり、目標の12,000円を達成することができた。生活介護では、新しくリトミックを開始した。
- ⑨「シャローム」は、天候等の影響により、農産物の生産・売り上げが前年度比約86%、平均工賃は、前年度比約88%であった。また、平均工賃額は、前年度の25,163円から1,570円減額し、23,593円となり、目標の26,000円を達成できなかった。
- ⑩「ゆうかり」は3年目を迎え、地域のケアマネージャー等にも認知度が高まったことや「シオンの丘」開設したこともあり、20名の定員が、利用率80%近くまで達することができた。
- ⑪「ぶどうの木」は、一般相談支援事業を開始する。1件の地域定着支援(地域生活を送る利用者から24時間連絡を受けられる体制確保と緊急時の訪問対応等の支援)を行なった。また、なんでも相談室と連携し、昨年度10件だった法人外利用者の計画相談が10件増加した(合計20件)。
- ⑫「シオンの丘」は、要介護・要支援の利用者年間契約目標35件を上回り40件の契約を達成できた。障害福祉サービスを知るケアマネージャーとして、他のサービス事業者にも認知していただいた。
- ⑬「ポパイ」は、貸与について、利用者数が28名(昨年度から6名増える)となったが、目標の40名には届かなかった。販売は、市内の施設等との取引が増え、約900万円を売り上げ、年間目標500万円を大幅に上回った。
- ⑭「オリーブ」は、売り上げが前年度比約45万円増加したが、アンペアンスのエアコン交換工事(約83万円)を行なったために、法人への繰り入れが予定していた200万円から75万円と減額となった。
- ⑮福祉の啓発誌「魁」の編集・作成・発行(3回)を行ない、福祉の啓蒙を行なった。

(7) 施設整備関係

主に次のような施設整備を行なった。

- ①「グレイスホーム」は、受水槽交換工事（4,829,760 円）、居室改修工事（1,544,400 円）、ボイラー暖房・給湯回路熱交換器取付工事（1,257,120 円）。医務室床下水漏れ修理（210,924 円）。食堂のテレビ購入（238,032 円）。居室エアコン交換（6 台、553,392 円）
- ②「あけぼのホーム」は、ベッドの購入（17 台、4,365,133 円）、受水槽交換工事（10,402,560 円）、利用者トイレ便座交換工事（442,800 円）、2 階スロープ塗装工事（292,680 円）、放送設備交換工事（1,430,853 円）。厨房のスチームコンベクション購入（677,376 円）。
- ③「めぐみの里」は、1 階の LED への交換工事（2,197,908 円）、連絡通路塗装工事（3,000,000 円）、食堂東側エアコン新規設置工事（641,844 円）。
- ④「さつき」は、居室のルームエアコン（全居室 9 台、廊下、事務所）交換工事（943,920 円）、調理場の IH キッキングヒーター交換工事（162,720 円）。
- ⑤「ベテル」は、受水槽交換工事（3,343,680 円）。
- ⑥「エステル」は、公園清掃用の車両の買い換え（1,050,000 円）、マンナ小型冷蔵庫ショーケースの購入（199,800 円）。
- ⑦「シャローム」は、送迎車輛の買い換え（1,275,540 円）。
- ⑧「オリーブ」は、アンペアンスのエアコン交換工事（825,120 円）。

(8) 借入金の償還

- ・「グレイスホーム」の大型改修工事（福祉医療機構）、「ダビデホーム」建設工事（北群馬信用金庫）、「クロスホーム」建設工事（群馬銀行）、「特別養護老人ホームカナン」建設工事（群馬銀行）、「エステル」建設工事（群馬銀行）の各借入金は、平成 30 年度分の償還を予定通り行なった。「特別養護老人ホームカナン」建設工事の北群馬信用金庫へは利子返済（元金の返済は、平成 31 年度から始まる）を予定通りに行なった。

2. 法人役員、評議員、運営協議会委員

(1) 役員、評議員、運営協議会委員（平成30年4月1日現在）

役職	定数	氏名
理事	7	山田雅人（理事長）、池田澄子、永田智彦、柴田敏樹 内山由紀、真部暁、麻田紀之
監事	2	澤口俊行、飯塚秀利
評議員	8	木村睦子、細井雅生、星名建市、井口千春、賤津進介、櫻井実、 島田幸治、山崎友丈
運営協議会委員	5	片野清明、福島重樹、永井廣隆、内海文雄、中澤悦二

(2) 就任・退任役員

①就任役員

	役職名	氏名	就任年月日	備考
就任	理事	麻田 紀之	平成30年4月1日	

（任期：平成30年度会計の最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで）

②退任役員

	役職名	氏名	退任年月日	備考
退任	理事	信澤 英紀	平成30年3月31日	

(4) 就任運営協議会委員

①就任委員

	役職名	氏名	就任年月日	備考
就任	運営協議会委員	山田 均	平成30年8月10日	

（任期：平成31年3月31日まで）

②退任委員

	役職名	氏名	退任年月日	備考
退任	運営協議会委員	福島 重樹	平成30年4月12日	

3. 理事会開催状況

開催日	審議内容	審議結果
第231回 平成30年5月19日	第1号議案 役員報酬規程等について	継続
	第2号議案 平成29年度 事業報告（案）	可決
	第3号議案 平成29年度 会計収支決算（案）	可決
	第4号議案 社会福祉充実残高の見込みについて（案）	可決
	第5号議案 定款の一部変更（案）	可決
	第6号議案 出納係変更について（案）	可決
	第7号議案 特別養護老人ホームカナン増床計画に	

	<p>第 8 号議案 に関する設計監理業者の選定 (案) 運営規程の一部変更 (案) ・ ベテル (就労移行支援) ・ 〃 (就労継続支援 B 型) ・ エステル (就労継続支援 B 型) ・ 〃 (生活介護) ・ シャローム (就労継続支援 B 型) ・ カナン (特別養護老人ホーム、短期入所) ・ さつき (地域密着型認知症対応型) ・ ゆうかり (通所介護事業、介護予防事業 総合事業)</p> <p>第 9 号議案 第 119 回評議員会の開催日時及び議案 (案)</p>	<p>可決</p> <p>可決 可決</p>
<p>第 2 3 2 回 平成 30 年 9 月 4 日</p>	<p>第 1 号議案 身体障害者施設受水槽交換設置工事 指名業者選定について (案)</p> <p>第 2 号議案 出納係の変更 (案)</p>	<p>可決 可決</p>
<p>第 2 3 3 回 平成 30 年 9 月 28 日</p>	<p>第 1 号議案 身体障害者施設受水槽交換設置工事業者の 決定及び契約の締結について (案)</p> <p>第 2 号議案 定款の一部変更 (案)</p> <p>第 3 号議案 契約職員給与規程の一部変更 (案)</p> <p>第 4 号議案 津久井光一様からの土地寄贈 受け入れについて (案)</p> <p>第 5 号議案 第 120 回評議員会の開催について (案)</p>	<p>可決 可決 可決 可決 可決 可決</p>
<p>第 2 3 4 回 平成 30 年 12 月 13 日</p>	<p>第 1 号議案 出納係変更について (案)</p>	<p>可決</p>
<p>第 2 3 5 回 平成 31 年 3 月 1 日</p>	<p>第 1 号議案 理事長報酬 (案) について</p> <p>第 2 号議案 平成 30 年度会計収支補正予算 (案)</p> <p>第 3 号議案 2019 年度 統括会計責任者及び資金運用責任者、管理 責任者・施設長、会計責任者、出納係の 任命 (案)</p> <p>第 4 号議案 2019 年度事業計画 (案)</p> <p>第 5 号議案 2019 年度会計収支予算 (案)</p> <p>第 6 号議案 めぐみの里短期入所の形態変更 (案)</p> <p>第 7 号議案 運営規程の一部変更 (案) ・ カナン (入所、短期入所)、料金表</p> <p>第 8 号議案 諸規程の一部変更 (案) ・ 就業規則 (正職員・契約職員) ・ 役員等報酬規程</p> <p>第 9 号議案 介護職員初任者研修開催 (案)</p> <p>第 10 号議案 白菊寮解体 (案)</p> <p>第 11 号議案 第 121 回評議員会開催について (案)</p>	<p>可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決</p>
<p>第 2 3 6 回 平成 31 年 3 月 26 日</p>	<p>第 1 号議案 特別養護老人ホーム「カナン」増床の 設計監理業者の選定 (案)</p> <p>第 2 号議案 運営規程の一部変更 (案) ・ めぐみの里 (短期入所)</p>	<p>継続</p> <p>可決</p>

4. 評議員会開催状況

開催日	審議内容	審議結果
第119回 平成30年6月18日	第1号議案 平成29年度 会計収支決算（案） 第2号議案 社会福祉充実残高について（案） 第3号議案 定款の一部変更（案） ・第50条 ・資産一覧表 第4号議案 役員等報酬規程（案）について ・理事長報酬 ・交際費	可決 可決 可決 継続
第120回 平成30年11月16日	第1号議案 定款の一部変更（案） ・第40条2項の別表 第2号議案 津久井光一様からの土地寄贈 受け入れについて（案）	可決 可決
第121回 平成31年3月16日	第1号議案 理事長報酬（案） 第2号議案 平成30年度会計収支補正予算（案） 第3号議案 2019年度事業計画（案） 第4号議案 2019年度会計収支予算（案） 第5号議案 役員等報酬規程（案） 第6号議案 白菊寮解体（案）	可決 可決 可決 可決 可決 可決

5. 運営協議会開催状況

開催日	内 容
第3回 平成30年7月6日	・意見交換 「恵の園の地域貢献の取組について」
第4回 平成31年2月4日	・意見交換 「外国人技能実習生受け入れについて」

6. 内部監査結果

平成30年5月16日（水）に当法人の監事による平成29年度事業報告及び決算諸表の監査を実施した。

7. 法人借入金償還状況 ※元金のみ

(単位:千円)

借入先	当初借入額	償還済額	当期減	借入残額	備考
社会福祉・医療事業団	30,000	12,730	1,570	15,700	グレイスホーム 建物改修工事借入金
北群馬信用金庫	36,800	20,700	3,600	12,500	ダビデホーム 建設借入金
群馬銀行	45,000	18,225	4,860	21,915	クロスホーム 建設借入金
群馬銀行	600,000	0	20,004	579,996	カナン 建設借入金
北群馬信用金庫	500,000	0	0	500,000	
群馬銀行	120,000	0	6,060	113,940	エステル 建設借入金
計	1,331,800	51,655	36,094	1,244,051	

8. 職員人事異動状況 (平成30年度中) ※正職員のみ

	採用	退職
人数	7名	9名

9. 職員配置状況 (平成31年3月31日現在)

	グレイス ホーム	あけぼの ホーム	めぐみの 里	ベテル	エステル	シャローム	マイーム	ぶどうの木
正職員	12	20	25	5	7	2	2	2
契約職員	5	17	15	7	10	6	8	1
嘱託医等	1	3	2	1	1	1	0	0
派遣職員	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	18	40	42	13	18	9	10	3

	カナン	さつき	ゆうかり	ポパイ	シオンの丘	オリーブ	合計
正職員	20	2	4	1	1	0	103
契約職員	10	6	3	1	0	2	91
嘱託医等	3	0	0	0	0	0	12
派遣職員	0	0	0	0	0	0	0
合計	33	8	7	2	1	2	206

※兼務職員は所属施設のみに計上しています。

10. 施設利用者状況（定員及び現員及び利用率）（平成 31 年 3 月 31 日現在）

定員及び現員

	グレイスホーム		あけぼのホーム		めぐみの里		ベテル				エステル			
	定員	現員	定員	現員	定員	現員	就労移行		就労継続		就労継続		生活介護	
							定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員
生活介護	30	30	50	45	80	78								
入所支援	30	30	50	45	80	78								
入所														
通所							6	2	34	30	30	35	10	10
短期入所	1		3											
日中一時					若干名		*1		*1		1			
計	31	30	53	45	80	78	6	2	34	30	30	35	10	10

利用率（％）

生活介護	95.1	90.1	95.4				
入所支援	95.0	90.2	97.0				
通所				37.7	76.5	88.75	92.0
短期入所	39.7	23.1	5.5				
日中一時	0	0	延 78 名				

* ベテルの日中一時の定員は就労移行又は就労継続のどちらか1名のみとなります。

定員及び現員

	シャローム		バルナバホーム		さくらホーム		ダビデホーム		クロスホーム		カナン		さつき	
	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員
生活介護														
入所支援														
入所			5	5	4	4	6	6	7	6	40	38	9	9
通所	20	22												
短期入所											5			
日中一時														
計	20	22	5	5	4	4	6	6	7	6	45	38	9	9

利用率（％）

入所		98.5	95.9	91.5	79.2	70.4	97.4
通所	106.1						
短期入所						96	
日中一時							

	ゆうかり		合計	
	定員	現員	定員	現員
生活介護			160	153
入所支援			160	153
入所			71	68
通所	20	41	120	140
短期入所			9	
日中一時				
計	20	41	360	361

利用率

通所	70.0
----	------

	シオンの丘	
	実質数	契約者数
人数	34	40

※生活介護と入所支援の利用重複者、日中一時の定員。現員数は合計には加算していません。

※ゆうかりの現員数は、契約者数となり、合計には含まれません。

※シオンの丘の実質数とは、実際にケアプランを作成している人数です。

11. 補助金による助成物件

(単位：円)

助成団体	補助対象施設	助成物件	総額	助成金額
群馬県	カナン	介護支援ベッド (4台)	1,593,000	737,000
東京都 社会福祉協議会	あけぼのホーム	介護支援ベッド (1台)	189,000	150,000